

主催：一般社団法人生徒会活動支援協会

# 主権者教育としての 新しい生徒会 シンポジウム

～子ども・若者参画社会を目指して～

2016年

9月17日(土) 15:30～18:00  
(開場 15:00)

参加  
無料

要  
登録

東京大学 本郷キャンパス

赤門総合研究棟 2階 A200 番教室

鈴木 寛

東京大学教授・慶應義塾大学教授  
前文部科学大臣補佐官

小玉 重夫

東京大学大学院教育学研究科教授

高橋 亮平

中央大学特任准教授  
千葉市こども若者参画・生徒会活性化アドバイザー

西野 偉彦

慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員  
神奈川県教育委員会「小・中学校における  
政治的教養を育む教育」検討会議座長

18歳選挙権の実施など若者の社会参加を取り巻く環境が変化している中で、特に学校現場などにおける主権者教育の中心的プログラムとしての“新しい生徒会”を提示すべく、各界の専門家を招いてのディスカッションを行います。

日本においては、戦後から民主主義の浸透を目的に「生徒会」が作られました。多くの学校で形骸化しています。その背景には、活動への意欲低下や意見が反映されにくい学校組織、学校や教員の生徒会に関する理解不足、地域や自治体による若者に対するエンパワーメント不足など、多くの事情があると考えられます。一方で世界的には、社会のあらゆる場面で、子ども・若者を意思決定に組み込むことは「若者政策」として大きな流れとなっており、特に若者参画の先進国では、生徒会を筆頭にありとあらゆる場面において成長に合わせた参画と教育の仕組みが用意されています。

生徒会.jp

<http://seitokai.jp/>

申込先 <http://seitokai.jp/>

お問い合わせ [contact@seitokai.jp](mailto:contact@seitokai.jp)

